



SAGA

動きまわ 佐賀市。

2023
定例記者会見
令和5年2月20日



本日の発表項目

- 1) 2月定例会議案 送付案件
- 2) 令和5年度当初予算(案)
- 3) 令和4年度2月補正予算(案)
- 4) トピックス

**動きます、
佐賀市。**

本日の発表項目

- 1) 2月定例会議案 送付案件
- 2) 令和5年度当初予算(案)
- 3) 令和4年度2月補正予算(案)
- 4) トピックス

動きます、
佐賀市。

2月定例会議案 送付案件

当初送付の案件

40 件

内訳

議案 38 件

報告 2 件

議案の概要

- ▶ 令和5年度当初予算 9件 (1～9号議案)
- ▶ 令和4年度補正予算 8件 (10～17号議案)
- ▶ 条例 17件 (18～34号議案)
- ▶ その他 4件 (35～38号議案)

● 21号議案 「佐賀市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」

障がいの特性や特性に応じた多様なコミュニケーション手段について理解を深め、全ての市民が、障がいの有無に関わらず、互いに尊重し合い、いきいきと生活する地域社会の実現を目指すため、この条例を制定するものです。

本日の発表項目

- 1) 2月定例会議案 送付案件
- 2) **令和5年度当初予算(案)**
- 3) 令和4年度2月補正予算(案)
- 4) トピックス

**動きます、
佐賀市。**

スローガン

**動きまます、
佐賀市。**

常に挑戦しつづけることで、常に価値を生みだす市政へ

ビジョン

今ある佐賀市の魅力を大切にしながら、
そこに新しい技術や発想を次々と取り入れることで、
「リッチ・ローカル 佐賀市」を実現する。

リッチとは、経済的な価値だけでなく、市民の幸福度や体験の豊かさなどの心の価値も指します。

令和5年のチャレンジ

3つの「新しい」を実行する。

1. 新しい“暮らし”を構想する
2. 新しい“人”を巻き込む
3. 新しい“体験”を創る

3つの「新しい」を実行するための令和5年度当初予算案

当初予算案のポイント

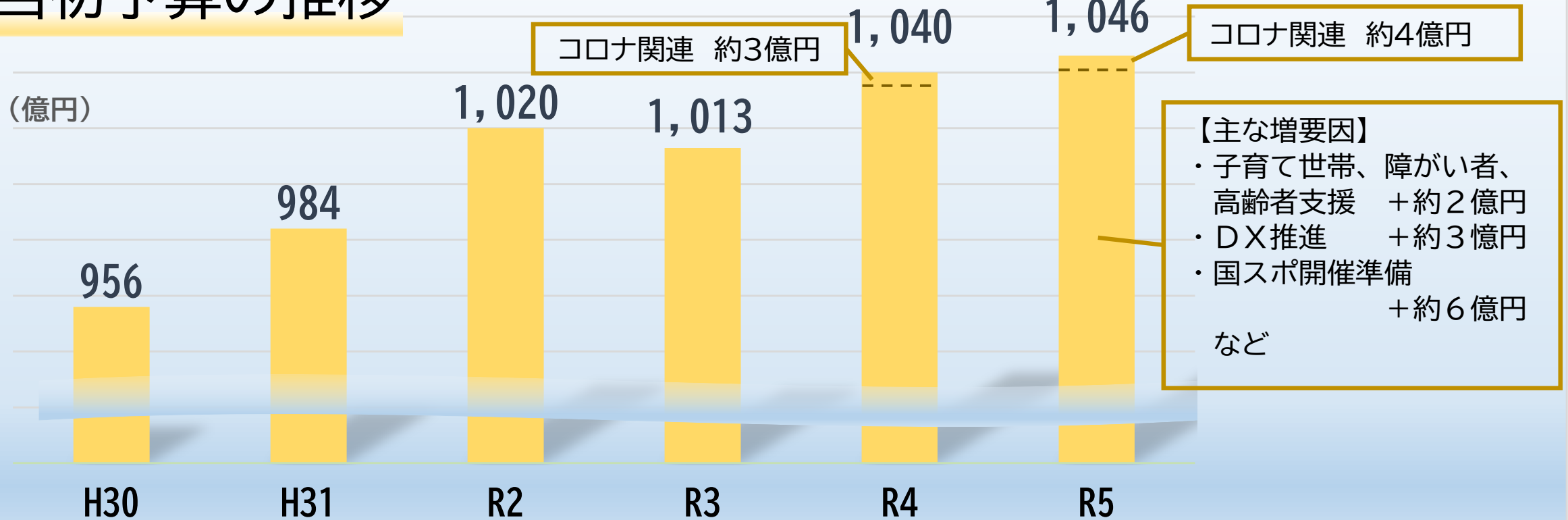
佐賀市の未来を“共創”する

- ・「リッチ・ローカル 佐賀市」の実現を目指し、3つの「新しい」を実行します。
- ・常に挑戦しつづけることで、常に価値を生み出す市政を目指します。

一般会計当初予算案 1,046億円

約6億円、0.6%の増

当初予算の推移



令和5年のチャレンジ

3つの「新しい」を実行する。

1. 新しい“暮らし”を構想する
2. 新しい“人”を巻き込む
3. 新しい“体験”を創る

1. 新しい“暮らし”を構想する

キーワードは、“市民発想”

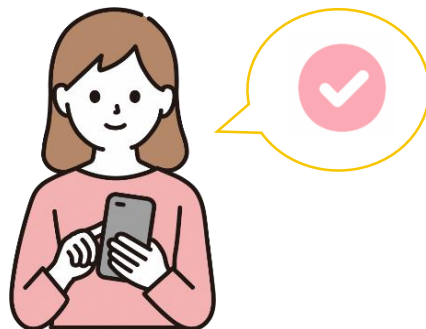
防災や福祉、地域や子育てなど。

日々の“暮らし”における様々な分野において、

市民の皆さんの目線に立った発想で、

これまで重点的に進めてきたデジタル技術の活用も行いながら、

安全・安心で快適な「新しい“暮らし”」を実現できるよう目指します。



佐賀市公式スーパーアプリで暮らしを便利に！

予算額：1億7,257万円

機能をもっと拡張して、市民、企業、地域とも一緒になった

みんなで創るスーパーアプリを目指します。



01

より便利に！より簡単に！より早く！

対応する手続きや閲覧できる**行政情報**を**拡張**していきます。

R5
年度

- ✓公共施設等のデジタルカード化
- ✓市税等の口座振替の手続
- ✓学校への欠席連絡 など

02

みんなで創る！

地域情報や民間サービスの提供、様々なコミュニティで使える**ミニアプリ機能**を搭載します。

03

いろんなアプリとつながる！

交通や決済など、全国で使える**民間アプリ**などと**連携**します。

最新技術で暮らしの安全を高める！

予算額：7,766万円

債務負担行為：[防災情報システム整備事業] 2億2,235万円

災害の被害を抑制しながら、発生したときに市民のみなさんへ
迅速・正確な情報をお届けし、**効果的な災害対応**を目指します。

災害発生前

R4から取り組む「**田んぼダム**」を推進
↓
約**300ha**での実施を目指します。



災害発生時



市民

位置情報・
写真を投稿

災害情報投稿
プラットフォーム
R7運用目標

庁内共有

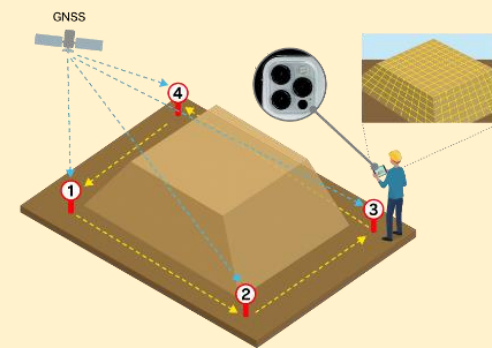


佐賀市

迅速な災害対応・情報配信



災害復旧時



災害現場を
スマホでスキャン

↓
三次元測量で
早急に復旧対応

先進モビリティで近未来な都市へ！

予算額：2,996万円

“行きたい時に 行きたい場所へ” スムーズに移動できるまちを目指し、
市民や観光客の移動手段の多様化に取り組みます。



自動運転バス（茨城県境町）



01

自動運転バスの実証実験を行います！

✓佐賀駅－SAGAアリーナ間で、SAGA2024に向けた
プレ実証実験を行います。

時期：令和5年 秋頃（1週間程度）

場所：サンライズストリート（予定）

02

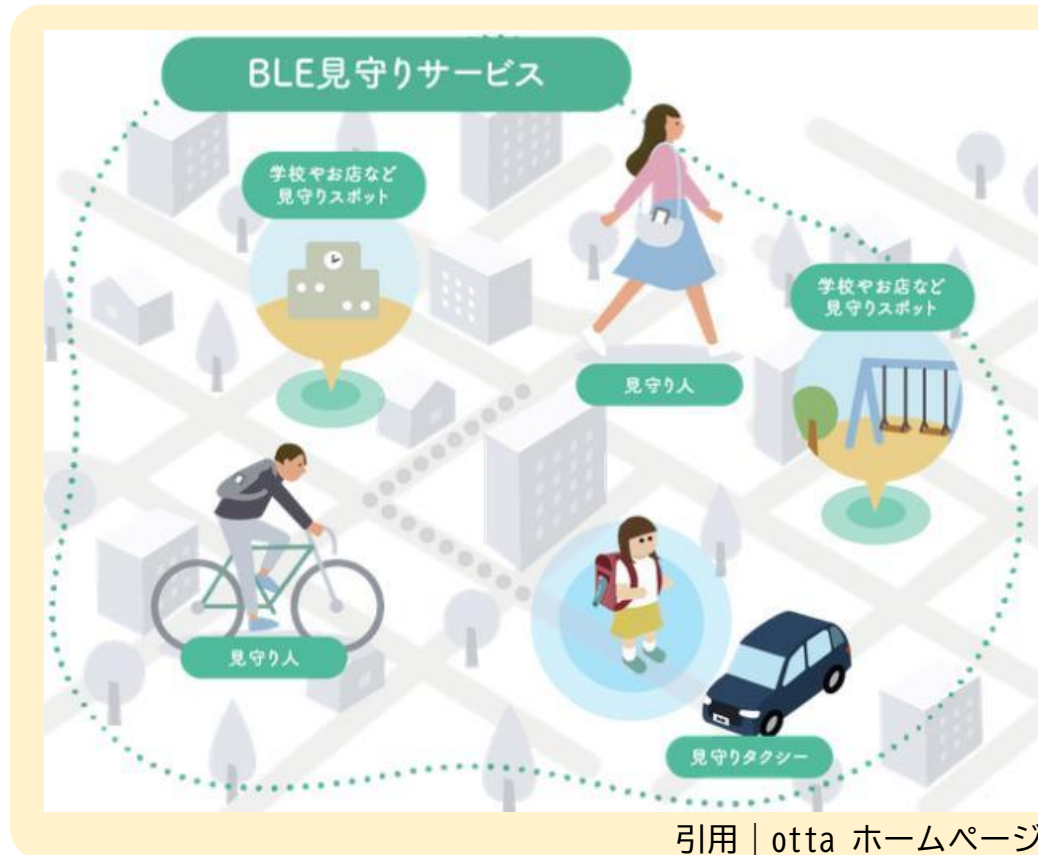
ニューモビリティの調査・研究に取り組みます！

✓電動キックボードやグリーンスローモビリティなど、
手軽でスムーズに使える移動手段の調査を行います。

安心して暮らせる環境をみんなで作る！

予算額：一円

ICTを活用した「見守りサービス」を導入して、
子どもと高齢者を、みんなで、見守る地域の実現を目指します。



小学生が、Bluetooth機能の
ついた見守り端末を携帯



学校やお店等を通過する。
または
見守り人アプリをダウンロードした
人やバス、タクシーとすれ違う。
位置情報を記録
どこにいるかが分かって安心！

5月に、一部の小学校でスタート！

今後、高齢者の見守りも展開します！

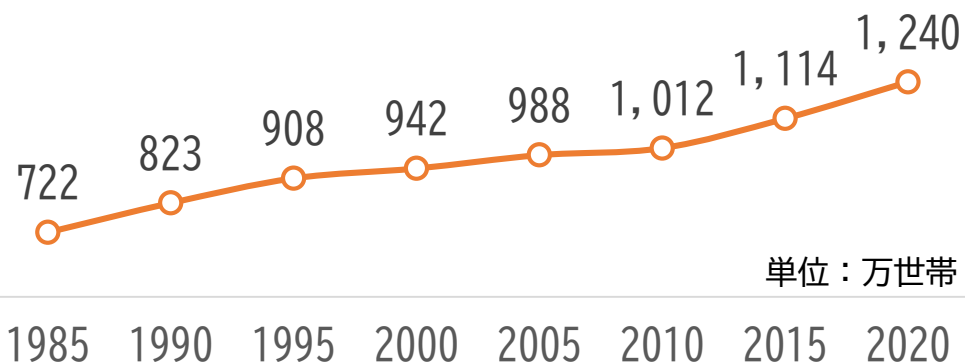
子育てに“ゆとり”のあるまちを目指す！

予算額：7億6,379万円

子育ての負担を減らすことで、

日々の忙しい中であっても**子どもと向き合う時間をつくります。**

共働き世帯の増加（全国）



単位：万世帯

1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020

出典 | 総務省統計局「労働力調査（詳細集計）（年平均）」



01 家計に“ゆとり”

- ✓妊娠時、出産後に、**合計10万円を支給** [国事業]
- ✓住民税非課税世帯等の**初回産科受診料を助成**

02 時間と気持ちに“ゆとり”

九州初！

- ✓「なかまほいく」で、**親同士のつながり**を創出
- ✓**一時保育**と育児疲れの**レスパイトケア**を充実
- ✓妊娠期から子育て期まで**伴走型の相談支援**を充実

03 保育活動に“ゆとり”

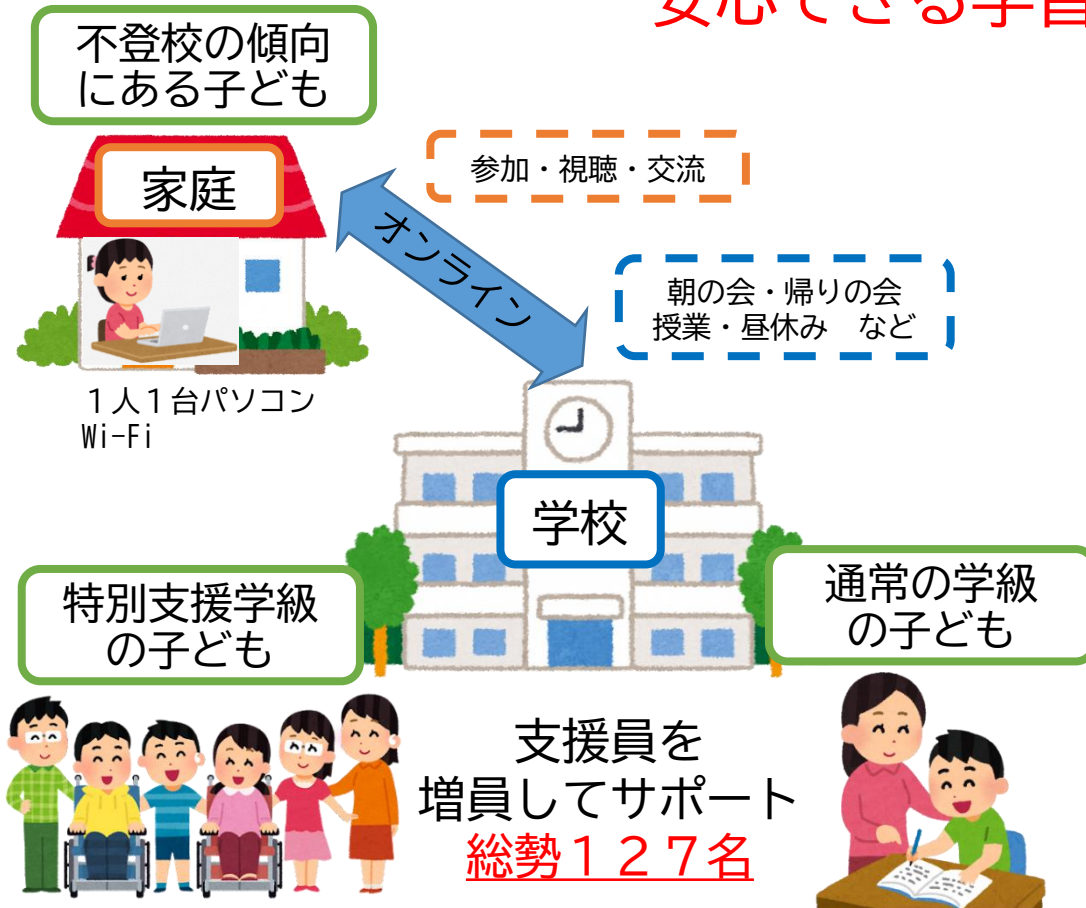
- ✓4年生以上の受入れが可能な**児童クラブ**を拡充
- ✓保育士確保のための**就職支援金**と**家賃補助**を継続

子どもたちが安心して学校に通う環境を！

予算額：2億7,988万円

不登校や障がい等で支援を必要とする子どもにとって、

安心できる学習環境づくりを進めます。



01 不登校の長期化を予防します！

- ✓ ネット環境のない子どもへ**ポケットWi-Fi**を貸し出し
- ✓ 友達や先生とつながる環境を整えます。

02 特別支援学級の子どもたちに安心を！

- ✓ 子どもたちへ支援を行うための**支援員を増員**
- ✓ 学習や身辺自立、教室移動等をサポートします。

03 通常の学級で支援を要する子どもたちに安心を！

- ✓ 子どもたちへ支援を行うための**支援員を増員**
- ✓ 学習や日常生活等をサポートします。

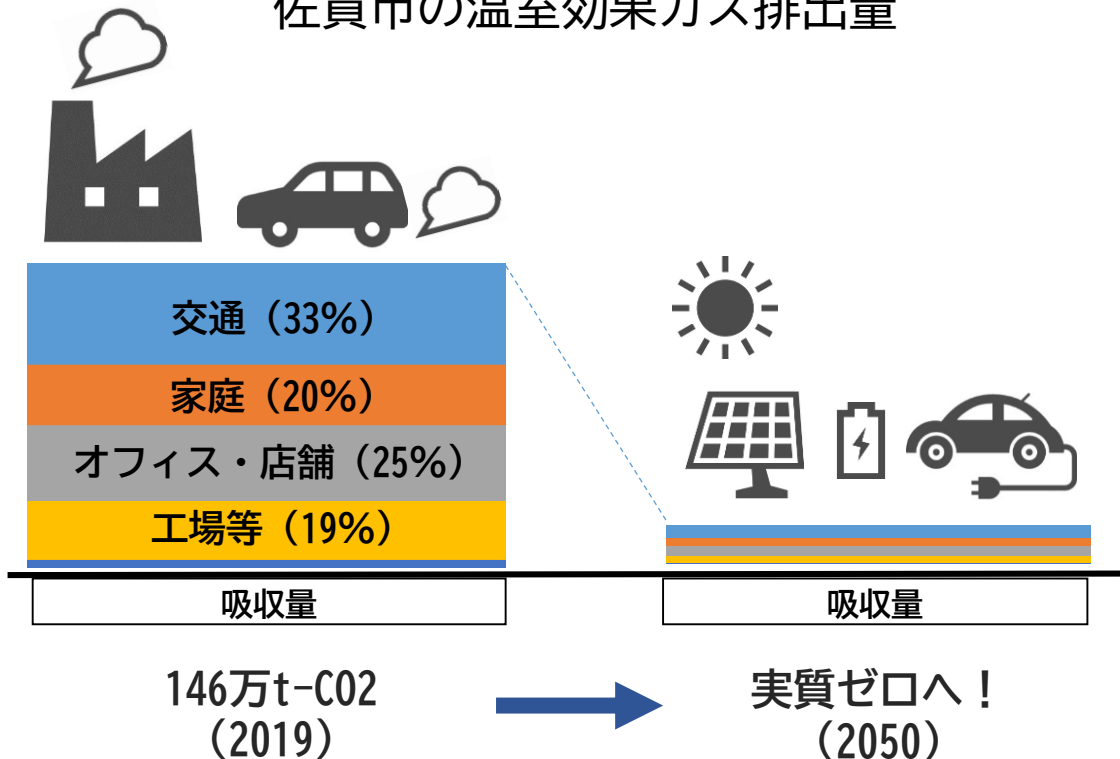
脱炭素のまちをつくる！

予算額：1,525万円

温室効果ガス排出量削減に向けた市民・企業の取組を後押しし、

ゼロカーボンシティさがしを目指します。

佐賀市の温室効果ガス排出量



次の取組を支援します！

交通

次世代自動車 (EV・PHV・FCV) の普及

- ・電気自動車、水素自動車等の購入
- ・電気自動車充電設備の設置

家庭 事業所

建築物の省エネ・再エネ設備の普及

- ・ゼロエネルギーのビル(ZEB)、住宅(ZEH)取得
- ・住宅用太陽光発電設備、蓄電池設置

POINT

災害時に停電したときの電源としても使えます！

スマート農業の推進に取り組む！

予算額：775万円

先端技術を活用し効率的な農作業を可能とするスマート農業で

農業経営の安定・強化を図ります。



学びを深める！

スマート農業の事例や効果などを紹介する研修会を開催します。



体験する！

スマート農業機器の実証実験や実演会を開催します。



実践する！

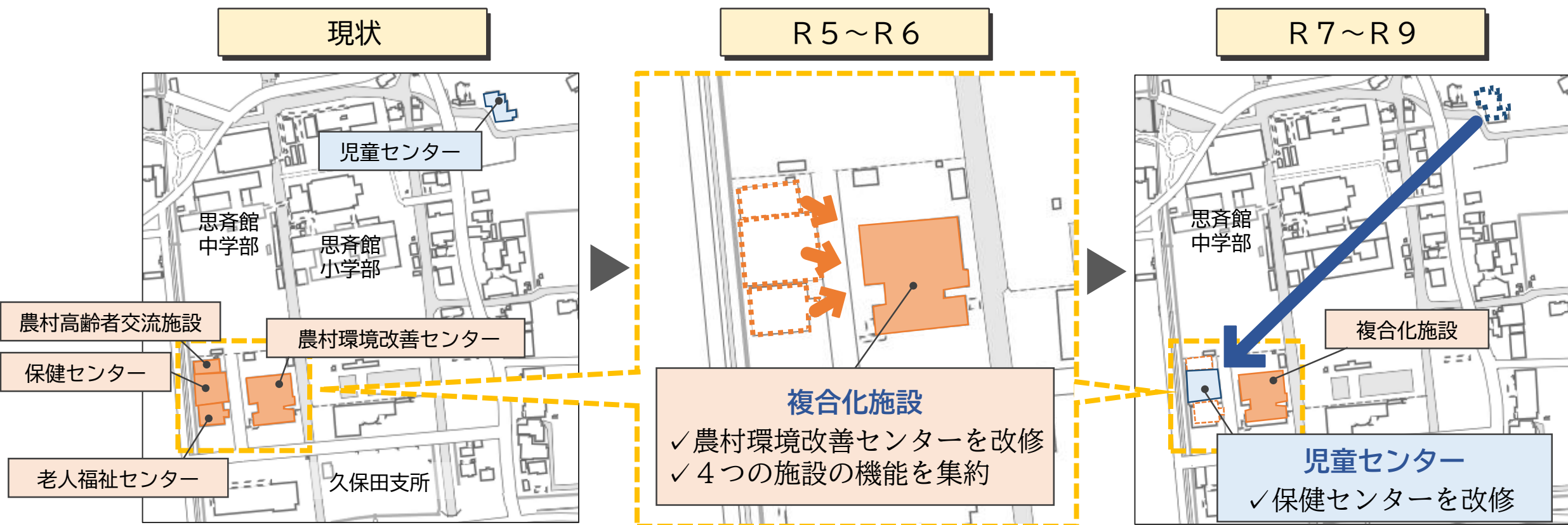
スマート農業機器の導入経費の補助や環境整備を支援します。

**【新】中山間地域での移動通信
基地局の整備を支援**

住民の皆さんと一緒に考えて、施設を再編する！

予算額：1億9,083万円

久保田農村環境改善センターを複合化施設としてリニューアルして
赤ちゃんから高齢者まで**みんなが「集う」**まちが**「賑わう」**施設を目指します。



新しい市の姿をまとめ始める！

予算額：3,613万円

佐賀市を取り巻く環境や社会情勢などが大きく変化する中において、

これからの佐賀市を描き始めます。



佐賀市総合計画

市のめざす将来像を描き
今後のまちづくりの基本指針を示します。
(計画期間:令和7年度～)



佐賀市都市計画マスタープラン

土地利用の基本方針や
都市施設の整備方針などを定めます。
(計画期間:令和7年度～)

令和5年のチャレンジ

3つの「新しい」を実行する。

1. 新しい“暮らし”を構想する
2. 新しい“人”を巻き込む
3. 新しい“体験”を創る

2. 新しい“人”を巻き込む

これまで佐賀駅周辺整備などを進め、
心地よく過ごせる空間づくりを目指してきました。

そして今年はSAGAアリーナが完成し、今後ますます交流人口の拡大が期待されます。

市の魅力やポテンシャルを高めて、新しい“人”を巻き込みます。



SAGAアリーナ来訪者に心地よい空間を！

予算額：2億9,380万円

全国各地からSAGAアリーナを訪れる多くの方が、
アリーナまでの道中を**便利で快適に過ごしていただける**ように整備します。

バス利便性の向上

駅からバスでアリーナへ

- ✓バスセンターからアリーナへのアクセスを強化

街なかからバスでアリーナへ

- ✓街なかーアリーナの1日乗車券
- ✓バスセンターでの乗継割引

異なるバス会社間は県内初の試み！



※九州運輸局の認可を前提とします。



サンライズストリートの整備

快適に歩ける空間をつくる

- ✓ポケットパーク等を3か所整備
- ✓歩道の拡幅、自転車通行レーン
- ✓カラー舗装、照明灯整備
- ✓無電柱化



SAGAアリーナ来訪者へ市内の回遊を促す！

予算額：5,619万円

スポーツやコンサート、MICE等の多彩なイベントが開催される今後、

街なかや観光施設を楽しみながら巡ってもらえる仕掛けづくりにチャレンジします。



アリーナ来訪者への“特別クーポン”の発行

アリーナ来訪者向けWEBサイトの構築

- ✓街なかで使える特別クーポンの発行
- ✓周遊ルート、特産品の紹介 など



街なか店舗との“ティアアップ”

ティアアップ店舗との連携・協力体制の構築

- ✓アリーナ関連イベントへの協力・連携
- ✓アリーナ来訪者への独自サービスの実施 など

さらには…

周遊タクシーの運行
バス1日乗車券の発売
宿泊プランの造成支援

街なか・観光情報の発信

SAGA 2024 国スポのリハーサル大会を開催！

予算額：7億884万円

来年に迫ったSAGA 2024 国スポへの準備を整えながら、

市の魅力を発信して、**スポーツ観光に取り組みます！**

競技別リハーサル大会を開催します！

- ✓ 11競技・13種目を開催
- ✓ 市民の皆さんへ、大会の情報を発信

大会関係者だけで、1万人強の参加見込み
このほかに、観客やマスコミなども

スポーツ観光に取り組みます！

- ✓ 参加者におもてなしを行い、市の魅力を発信します。
- ✓ SAGA2024での観光施策へも反映します。



中山間地域の“さがぐらし”を進める！

予算額：600万円

地域資源である「空き家」を移住希望者に繋ぐことによって、

中山間地域でのコミュニティ活動の維持や持続可能な地域づくりを支援します。

R4
年度

✓中山間地域への定住を支援する
集落支援員を増員（7名⇒12名）

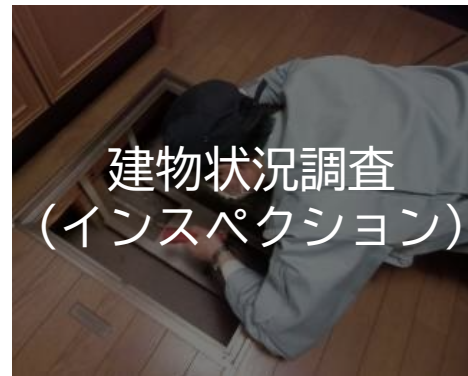
空き家バンク
新規登録物件数の増加
（8件⇒14件）

R5
年度

✓空き家の改修などにかかる費用の
補助件数を拡充します！



空き家バンク登録物件に対し補助します！



引用 | 国土交通省

バルーンフェスタを全国区の佐賀市ブランドへ！

予算額：800万円

佐賀インターナショナルバルーンフェスタの知名度向上を図り、
「**バルーンといえば佐賀市**」という市のイメージアップを目指します。

バルーンフェスタの
佐賀・福岡・長崎からの
来場者…83.5% (2019年)[※]



北部九州以外に伸びしろ

プロモーション動画や
SNSを活用して
主に首都圏向けにPR

「バルーンといえば佐賀市」
を全国で定着へ

※出典 | 来場者アンケート(n=935)

「物流拠点構想」の実現に向けた検討に取り組む！

予算額：876万円

南部地域における交通インフラ集積を好機と捉え、

物流拠点の形成による経済活性化・雇用創出の構想策定を目指します。



九州佐賀国際空港



有明海沿岸道路の延伸

外部委員会

- ✓ 物流拠点形成によって、どんな効果が生まれるのか？
- ✓ 物流拠点の実現に向けて、どのような取組が必要なのか？

令和6年度の構想策定を目標

令和5年のチャレンジ

3つの「新しい」を実行する。

1. 新しい“暮らし”を構想する
2. 新しい“人”を巻き込む
3. 新しい“体験”を創る

3. 新しい“体験”を創る

市には、たくさんの施設やイベントなどがあります。

これまであったものも、これから作っていくものも、「モノや場をつくる」発想より先に「訪れる方の体験を豊かにする」発想で、もっと新しい“体験”を創っていきます。



今ある施設を新しい“体験”の場へ！

これから、大規模な改修を控えている佐賀市立図書館

今年、鍋島家から寄贈を受けて100周年を迎える神野公園

時代の変遷とともに、求められる役割が変わってきている公民館

これらの施設が、これから新しく生まれ変わるよう検討を進めていきます。

佐賀市立図書館：

みんなのライブラリーパーク、はじまる。

新・佐賀市立図書館

SAGA LIBRARY PARK

スケジュール

令和5年度

基本構想、基本計画策定

令和6～8年度

設計、工事

令和8年度
(開館30周年)

リニューアルオープン

神野公園：

令和5年度での基本構想策定を目指します。

神野公園

7つの体験 プロジェクト

KONO PARK 7 EXPERIENCE PROJECT

1. 自然・環境
2. 遊び
3. 食
4. 運動・健康
5. 教育
6. 文化
7. 季節

市民の、こんな公園あったらいいな、を
すべて叶える体験の場へ。

新しい時代に合わせて、神野公園が生まれ変わります。

公民館：

検討会を開催し、今後のあり方を検討します。

少子高齢化が進む中、誰もが暮らしやすい地域にしていくために、公民館は、地域コミュニティ活動の拠点としての機能を更に高めることが求められています。

これまでの機能を大事にしながら、様々な方から意見をお聞きし、今後のあり方を模索します。



中学生に生きた英語に触れる機会を！

予算額：271万円

中学生の英語でのコミュニケーション能力を育み、
グローバルな人材育成を目指します。



現状 「1 対 多数」の授業

- ✓英語教師やALT等による「1 対 多数」の授業が中心
- ✓一人ひとりが個々に外国人とのコミュニケーションを図る時間が十分確保できない

外国人講師との オンライン英会話学習を導入

R5
年度

モデル校2校の中学1年生を
対象に実施

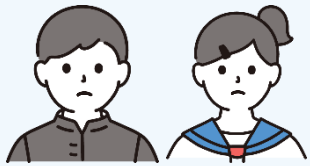
今後 「1 対 1」のコミュニケーション

- ✓一人ひとりが、生きた英語に触れる機会が増える
- ✓自発的に話すことで、伝わる経験が楽しさにつながる

学校と地域が連携した部活動を目指す！

予算額：500万円

休日の部活動が地域クラブ活動に変わること、**まずは持続可能な活動に、**
そして、**多様なスポーツや文化活動に触れ合う機会の創出**を目指します。



生徒数の減少によって、

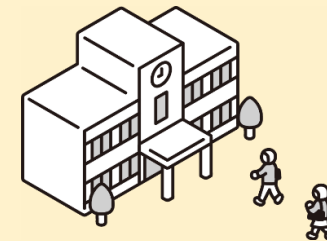
- ・ 通う学校に**希望する部活動がない**
- ・ 部員不足で**廃部や休部の危機**

- ✓子どもたちのニーズに応えた活動が続くように
- ✓部活動として取り組んでいない活動もできるように

**令和8年度までに、中学校における
休日の部活動の地域移行を目指します。**

令和5年度の取組

- ・ 一部、部活動での**モデル的先行実施**
- ・ **地域連携コーディネーター**を配置した円滑な移行促進
- ・ 休日部活動地域移行検討委員会による**全市的な移行の協議**



佐賀バルーンーズと新しい“非日常”を創る！

予算額：5,308万円

多くの市民の方に、新しいアリーナで地元プロスポーツを応援する体験を
味わっていただけるように後押しします。



引用 | 佐賀県

01

チームをより身近に！

- ✓バスケの体験イベントの開催
- ✓選手が中学校で夢の叶え方を教える「夢」先生

02

みんなで応援！

- ✓ホームゲームに市民の皆さんを招待
- ✓アウェーゲームのパブリックビューイングを開催

市民一体となって

スポーツをきっかけにまちを盛り上げたい！

令和5年度当初予算案 その他の重点事項

－TOPICS－

未来を担う子どもたちへ豊かな国際経験を！

予算額：903万円

佐賀市の姉妹都市グレンズフォールズ市・ウォーリン郡との
 中高生による姉妹都市交流を**5年ぶり**に再開します！



時期

令和6年3月

期間

11日間（うち、ホームステイ7日間）

訪問団

中学生：10名、高校生：10名、引率者：5名

姉妹都市
35周年！



アメリカでの授業を体験！



交流を通じて親睦を深める！



ホームステイで海外文化に触れる！

本日の発表項目

- 1) 2月定例会議案 送付案件
- 2) 令和5年度当初予算(案)
- 3) 令和4年度2月補正予算(案)**
- 4) トピックス

**動きます、
佐賀市。**

令和4年度2月補正予算案

2月補正
予算額

△1.3 億円

内
訳

通常補正分 $\Delta 14.3$ 億円

国の予算措置に伴う分 13.0 億円

補正後予算総額

1,120 億 7,100 万円

プレミアム付地域振興券を発行します。

予算額：2億5,750万円

プレミアム率： 飲食券30% 共通券25%



飲食券は 5,000円で購入して 6,500円分 使える！

共通券は 4,000円で購入して 5,000円分 使える！

【飲食券】

- ・ 電子券 30,000口
- ・ 紙券 20,000冊

【共通券】

- ・ 電子券 54,000口
- ・ 紙券 36,000冊

※電子券は、スーパーアプリから連携できるよう計画します。

販売開始 令和5年8月ごろ予定

ノリ養殖漁業者に対して経費の一部を補助します。

補正予算額：5,300万円

当初予算額：956万円

深刻な不作により大きな影響を受けている

ノリ養殖漁業者を支援します。

補正予算では…

栄養塩添加に必要な経費の1/2を補助します。

当初予算では…

事業の継続に対する特別資金貸付の利子を補給します。



本日の発表項目

- 1) 2月定例会議案 送付案件
- 2) 令和5年度当初予算(案)
- 3) 令和4年度2月補正予算(案)
- 4) **トピックス**

**動きます、
佐賀市。**

4年ぶりとなる「さが桜マラソン2023」を開催します。



【日 時】 3月19日 (日) 9:00 スタート

【コース】 SAGAサンライズパーク前
～ SAGAスタジアム

9,000人を超えるランナーがエントリー！



さが桜マラソン
SAGA SAKURA MARATHON 2023

SAGA2024 競技会運営ボランティアを募集します。

3月1日（水）から受付を開始します。

活動内容

競技会の運営を補助します。



会場受付



環境美化



弁当配布



会場整理



休憩所



案内

- ▶ 活動の場：SAGA2024国スポ
- ▶ 応募要件：平成24年4月1日以前生まれの人（現在、小学5年生以上）で、次のいずれかに該当すること。
 - ・本市に在住、通勤、通学している個人
 - ・本市に活動拠点を有する団体



**SAGA
2024**
国スポ・全障スポ
SAGA-CITY



◀ 申し込みは
実行委員会HPから

ウクライナ避難民への 支援を 延長します。

2022年3月のウクライナ避難民の受け入れ表明後、

これまでの受け入れ	延べ15組、14世帯、33名
現在、佐賀市で生活	13組、12世帯、29名

- ✓ 幼稚園・保育所や市内の学校などに通園・通学
- ✓ 関係機関との連携で、市内事業所で就労も実現



二十歳の集いに参加



ウクライナ・日本料理を相互に紹介



佐賀錦織に挑戦

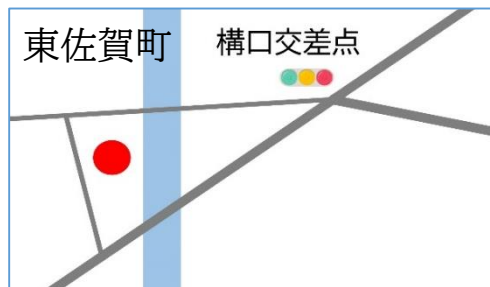
市営バスや市有施設、上下水道を無料で利用できるよう、**支援をさらに1年延長します。**

佐賀市史跡を新たに指定します。

牛嶋口跡

(うしじまくちあと)

牛嶋口に架かっていた橋の土台が発見されました。



当時のイメージ

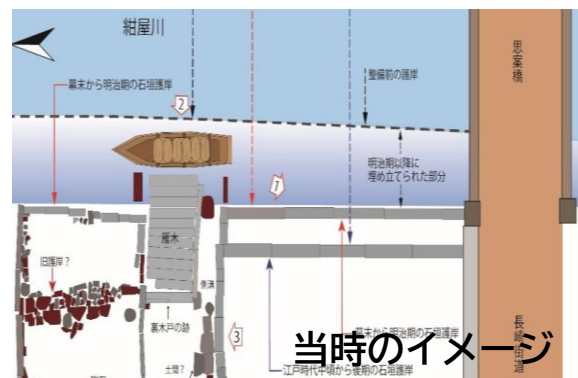


牛嶋構口公園として整備しています。

思案橋荷揚げ場跡

(しあんばしにあげばあと)

舟で運んだ物資を荷揚げした石段が発見されました。



当時のイメージ



思案橋広場として整備しています。

大隈重信記念館企画展を開催します。

早稲田大学創設者

津田塾大学創設者

「大隈 重信 と 津田 梅子」

期 間： 2月21日(火)～3月21日(火・祝)

9:00～17:00 ※期間中は休館日なし

ふたりの女子教育への貢献と、関わりを紹介します。

入場料 大人 330円 小・中学生 160円

展示だけでは、お伝えできない魅力をお伝えします！

館長と学芸員によるギャラリートーク

日時：3月11日(土) 14:00～

